



PRESS RELEASE

平成31年4月25日

情報政策課

(内線2228)

「えひめFreeWi-Fi」の設置箇所2,000箇所達成について

平成26年度から開始した「えひめFreeWi-Fiプロジェクト」は、誰もが無料で利用できるWi-Fiスポットの整備を民設民営により行うもので、これまで国体競技施設を含む公共施設や、民間の観光・宿泊・商業施設等への設置を積極的に働きかけるなど、設置箇所の増加に取り組んできました。

このたび、西予市図書交流館などが新たに加わった結果、平成30年度末の設置箇所が2,010箇所となり、同年度末での目標としていた2,000箇所を達成したことから、お知らせいたします。

今後とも、各施設に設置を働きかけるとともに、外国人旅行者の利便性向上に注力して参ります。

〔外国人旅行者の利便性向上策〕

- ・外国人旅行者が利用する貸切バスへの設置支援
- ・多言語コールセンターとの連携強化
- ・ポータルサイトの多言語化の拡充
- ・多言語ポスター作成によるPR

「えひめFreeWi-Fiプロジェクト」について

県では、民間通信事業者等、愛媛大学、総務省及び県内全市町と連携し、地元住民の方々や国内通信キャリアとの契約がない外国人観光客など、誰でも無料で利用できる公衆無線LANの普及を推進しています。

プロジェクトの概要

- ◆ 県民及び国内外からの観光者等が、無料で利用できる公衆無線LANサービスを提供
- ◆ 公共施設や街中、観光地等ニーズが高い場所を中心にアクセスポイントを設置（民設民営）し、SSIDとロゴを統一することで、利便性を向上、情報発信力を強化



- ・誰でも無料で利用可能
- ・統一SSID 「Ehime_Free_Wi-Fi」
- ・統一ロゴ

民設民営による整備

- ・プロジェクト参画事業者のサービスを利用した整備
- ・施設が独自に整備するAPのSSID変更、追加による整備

(Wi-Fi設置施設)

- ・施設価値の向上
- ・集客力アップ

(施設利用者)

- ・利便性の向上
- ・情報発信力強化

地域活性化

